

平成30年7月豪雨
愛媛大学災害調査団

浸水痕跡調査

愛媛県宇和島市津島町 芳原川・保場川合流付近
(岩松川支流)

浸水深さ測定：2018年7月16日

森脇 亮、今村 実（学生）、井上 咲（学生）、得能育孝（学生）、
三好憲正（NPO法人愛媛県建設技術支援センター）、米虫 聡（愛媛県技術士会）

調査箇所 愛媛県宇和島市津島町 芳原川・保場川合流点付近



津島(7月16日調査)

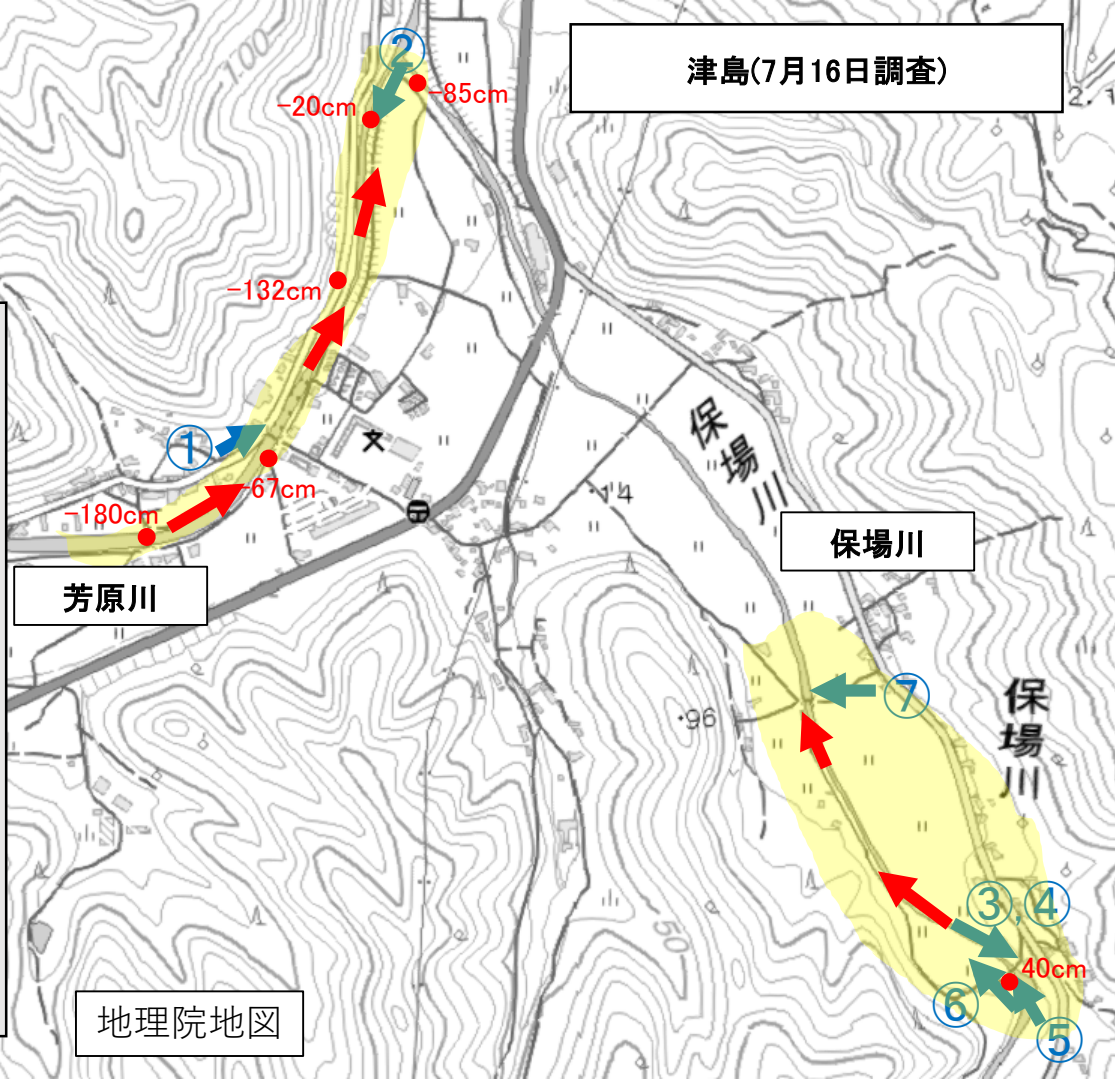
赤矢印: 推定流向

番号+青矢印: 写真番号+カメラ向き

黄色部分: 調査範囲

- 津島では路面までの浸水被害はなかった
- 住民宅(コミュニティセンター付近)、8時ごろにコンクリートブロックと路面のぎりぎりまで水が来た
- 立花川橋の橋脚中央に破損跡
- 高岡橋に複数の擦れた跡
- コミュニティセンター下流左岸側の階段(7段目までに石が上がっていた
- ブルーシートで場所を1m以上掘られ、ブロックが割れている(写真②)
- 上屋敷橋上流・下流側で草が大きく投げ倒された形跡あり(写真③~⑥)
- 保場川右岸は水路まで、左岸は天端高まで越水
- 楠橋付近、用水路があふれ出し田んぼに水が入る
- 楠橋上流右岸側、道路上に砂、複数の大きめの石
- 楠橋50m下流右岸側、コンクリートブロックのずれを確認(写真⑦)。加えて、付近にボイリングらしき跡あり

地理院地図



写真①(中央橋下流左岸側)



写真②(中央橋下流右岸側)



写真③(上屋敷橋上流右岸側)



写真④(上屋敷橋上流左岸側)



写真⑤(上屋敷橋下流左岸側)



写真⑥(上屋敷橋下流)



写真⑧(楠橋右岸コンクリートブロック)

